

「介護ロボットの導入効果を最大化するルール形成研究会」への 参加について

株式会社レオパレス21(本社:東京都中野区、社長:深山英世、以下:レオパレス21)は、多摩大学 ルール形成戦略研究所(所長 國分俊史 多摩大学大学院教授)が、12月6日付で創設した「介護ロボットの導入効果を最大化するルール形成研究会」に参加いたしました。

本研究会は、高齢者の更なる増加によって加速する介護人材不足の深刻化を視野に入れ、介護の質および生産性の向上につながる介護ロボットの技術開発と実装・普及を大幅に促進することを目的としています。求められる開発要件や現実的なコスト規模感、促進に向けた制度・政策のあり方について、現場目線を取り入れながら業界横断的に検討し、具体的な政策提言を行うものです。

■活動目標

本研究会は、以下のテーマに関して集中的に検討を進め、政府に提言を実施することを目指しています。

1. 介護サービスの質と生産性の向上につながる介護ロボットの開発要件
 - ・介護ロボット導入により業務改善可能な作業・工程および改善要望
 - ・介護ロボット導入において求められるコスト規模感
2. 介護ロボットの実装・普及の促進に向けて求められる制度・政策のあり方

当社では本研究会の参加を通して、介護ロボットの技術開発と普及の促進に貢献してまいります。

<本件に関するお問い合わせ>

株式会社レオパレス21 広報・IRグループ TEL: 03-5350-0216